

シリーズ vol.3 SDGs(エスディーゼーズ)



2015年9月に国連サミットの中で全会一致で採択された、2030年までの国際社会共通の目標のことをSDGsと言います。持続可能な開発目標「Sustainable Development Goals」の略称で、17のゴール・169のターゲットから構成されています。

SDGsは、先進国も、途上国も、すべての国や地域の人たちが取り組むための目標です。

SDGsの重要な考え方に「それぞれの問題は、相互に関連しており」「さまざまなステークホルダーが繋がって行動を起こす」があります。

異常気象が農業に大きな影響を与え、食料不足を引き起こす。貧しさのために十分な教育を受けることができず、貧困の輪から抜け出せない……。SDGsに掲げられたそれぞれの問題は、互いに深く関連しています。

それらの問題の解決のためには、政府、行政、企業や大学、NPOなど、いろいろな背景を持った人たちがつながりあって、それぞれの良さを生かしながら、積極的に取り組むことを求めています。

企業はビジネス。NPOは社会課題の解決。というように、目的が異なるように思われていた両者は、連携が難しい場面がありました。しかし、例えば緑や海の豊かさを守ることが、SDGsの考えによれば、ビジネスの成長のためにも、地球環境や地域社会にも必要なことなので、一緒に取り組みましょう!と企業とNPOが同じ舞台上、それぞれの特徴と強みが生かせる関係をつくることができます。

川崎市は「川崎市持続可能な開発目標(SDGs)推進方針」を策定。2019年7月に、内閣府選定の「SDGs未来都市」に選ばれました。今後は、SDGsの達成に向けて、行政、企業、NPO等の多様なステークホルダーが連携・協働する場面が増えていくと思われます。

かわさきFMでも情報を発信しています



かわさきホット☆スタジオ

「市民活動センター情報」 毎月第3火曜日 15時30分から
かわさき市民活動センター市民活動推進課の職員が生出演し、市民活動センターの事業の紹介など、市民活動に役立つ情報をお伝えしています。

「まちかどからお届け」 毎月第4月曜日 15時30分から
かわさきFMのレポーターが、市内の子ども文化センターを生訪問。館長や職員が出演し、施設や地域の特徴(部屋や利用者)、行事(大きな行事・毎月の行事)を紹介しています。子どもたちが出演することもあります。



ナンバーゼロ 2019年盛夏号(通巻No.285)

【編集・発行】
公益財団法人かわさき市民活動センター 市民活動推進課

〒211-0004 川崎市中原区新丸子東3-1100-12
電話:044-430-5566 FAX:044-430-5577
メール:suisin@kawasaki-shiminkatsudo.or.jp
WEB:http://www2.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp/volunt/

Facebookでも情報を発信しています。
<https://www.facebook.com/kcac.suisin/>

ポータルサイト「応援ナビかわさき」
<http://kawasaki.genki365.net/>

◆2019年初夏号は、7名の発送作業ボランティアの方にお手伝いいただきました。

2019年 盛夏号(通巻No.285)

ナンバーゼロ



INDEX 目次

- P2 団体の足腰を強くする組織基盤強化のための支援サービス
- P3 こぶた わくりんが行く!
- P4 市民活動のキーワード SDGs

かわさきボランティア・市民活動フェア

ごえん楽市は本年度、春から秋へお引越し

日時 2019年9月21日(土)10時~16時

会場 かわさき市民活動センター 中原市民館

主催 公益財団法人かわさき市民活動センター

開催内容は、当センターのHPやSNSに順次UPします。楽しい企画で市民活動に触れ・交流できる一日です!ぜひご来場ください。(写真は前回のようすです)



団体の足腰を強くする 組織基盤強化のための支援サービス

「事業を実施することが優先で、団体運営に手が回らない」ということはよく聞きます。会計処理、会員管理、会費や寄付集め、団体のPR、メンバーのモチベーションアップなど、作業が一部のメンバーに偏ったり、滞ったりしていませんか。そんな団体運営を支援するサービスがあります。団体に合ったものを選んで、作業を軽減、効率アップなど、団体の事業や本来の目的に力を注げるよう、組織基盤強化のために活用していきましょう。



株式会社FASTER

●Google for Nonprofits導入支援プログラム:「G Suite for Nonprofits」,「Google AdGrants」導入のお手伝い。
¥ 12,000円/年~
<http://www.faster.ne.jp/>

ヤマサキ司法書士事務所

ヤマサキ司法書士事務所

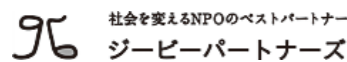
●NPOコンサルティング:寄付集めプロジェクト立上げ、NPO法人の認定、特例認定、条例取得など。
¥ 10,000円/月~ 3か月から
<http://yamasaki-work.com/>

みんなのさいわい



みんなのさいわい

●プロボノ支援、ファンドレイジング(資金調達)支援。
¥ 50,000円/件
資金調達の場合は成功報酬として10%
いただく場合あり(要相談)
<http://minnanosaiwai.com/wp/>



NPO法人ジービーパートナーズ

●NPOバックオフィスサポート業務:経理の仕分け入力、事務局運営サポート。
¥ 状況やご予算に応じて見積り
<http://gbpartners.jp/>



株式会社リリー

●広報宣伝PR戦略無料相談:会員の新規獲得、退会率の軽減、広報宣伝PR戦略の立案と実行についてその場で手法をお教えします。
¥ 1回2時間無料
<https://lirye.co.jp/>



株式会社ファンドレックス

●①ファンドレイジング全般のサポート
②データベース(Salesforce)初期導入のサポート
¥ ①50万円~ ②25万円~
<http://www.fundrex.co.jp/>



etohane

etohane 絵と羽根

●デザインの知識:チラシや三つ折りパンフレットなどのデザイン制作、アドバイス。相談はお気軽に。
¥ チラシデザイン15,000円~
<https://www.etohane.com/>



株式会社ガハハ

●キフ:寄付集めに力を入れている団体が活用中の「郵便振込書付チラシ」の作成。ひとつひとつ丁寧にデザインします。
¥ 80,000円~(予定)
<http://gahaha.co.jp>



公益財団法人 かわさき市民しきん

公益財団法人かわさき市民しきん

●プロボノ事業:社会的・公共的な目的のために、仕事で培ったスキルを活かすボランティア活動です。
¥ 無料
<http://shimin-shikin.jp>



ソリマチ株式会社

●会計王NPO法人スタイル:NPO法人特有の決算書作成など、NPO法人のために開発されたソフト
¥ 40,000円(税抜).30,000円(税抜)/翌年以降の年間サポート
<https://www.sorimachi.co.jp/>



情報発信サポートOffice Dog Tail

●広報・宣伝活動、情報発信の実施と、コストパフォーマンスの高いベストの手段をコーディネート。必要な素材(写真、イラストなど)、SNSなどのアドバイス等。
¥ 多岐にわたるため、個別に見積り
<https://www.facebook.com/OfficeDogTail/>

6月16日(日)開催の「組織基盤強化フォーラム」で紹介された支援サービスです。

企業名(団体名)

● 提供サービス

¥ 費用

ホームページなど



パワーアップセミナー

次回予告

「団体と地元企業の協働(仮)」

○日時:9月7日(土)13時30分~16時30分

○会場:かわさき市民活動センター

講師:大塚朋子さん

特定非営利活動法人こまちぶらす 居場所づくりコーディネーター

シリーズ・団体の終活「団体の世代交代」

○日時:10月12日(土)13時30分~16時30分

○会場:かわさき市民活動センター

講師:富永一夫さん

特定非営利活動法人NPOフュージョン 創業者



5月25日開催 パワーアップセミナーのようす

お知らせ

後援名義使用の申請ができます。

市民活動団体等が行う事業を実施する際、申請し承認を受けると、後援として「公益財団法人かわさき市民活動センター」の名義を使うことができます。

後援を得ることで、団体や事業に対する信頼度が増したり、活動が公益性であることをPRできます。

【後援申請の手続き】

後援申請書、事業等の企画書、開催要項、団体規約等の提出

書面にて承認・不承認の決定通知

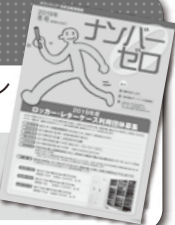
事業終了後、後援事業報告書の提出

「後援申請書(第1号様式)」と「後援事業報告書(第2号様式)」は当センターのホームページよりダウンロードできます。

お知らせ

当センターに施設利用登録をしている団体に本紙「ナンバーゼロ」を次号より定期的に無料で送付します。

送付を希望される団体は、当センター宛てメールでお申込みください。
メール:suisin@kawasaki-shiminkatsudo.or.jp
既に送付希望頂いている方は不要です。



「だじゃれの時間」



2019年6月17日(月)、百合丘小学校わくわくプラザにて、ことば遊びを通して子どもたちのことばへの興味を深め、友だちや家族とのコミュニケーションをより楽しんでもらうことを目的として、「一般社団法人日本だじゃれ活用協会」の方々を講師に招き、「だじゃれの時間」を開催しました。



映像を見てだじゃれの豆知識を学んだり、どれだけお題に沿っただじゃれを言えるかグループ対抗で競い合ったり、だじゃれ満載の楽しいひとときを過ごしました。イベントを通して、普段はおとなしい子どもたちがグループの中で積極的に意見を出し、イベント終了後も講師の方に「こんなだじゃれも考えたよ」と熱心に伝える姿が印象的で、とても好評でした。

今回は、「だじゃれ」を楽しみながら言葉の大切さを学ぶことのでき



る機会を子どもたちに提供することができました。当財団では今後も、様々な活動をされている地域の方々との交流を通して、子どもたちの健やかなこころの成長を見守っていきます。

私も考えたよ☆
だじゃれを言うのは
だれじゃ?



*こぶんたは、当財団が管理運営するこども文化センター52施設のキャラクターです。 *わくりんは、当財団が管理運営するわくわくプラザ102施設のキャラクターです。